

その響きはプリズムのように

まだ見ぬ光を映し出す



クリストフ・エーレンフェルナー 鷺宮美幸 デュオリサイタル

Violin Christoph Ehrenfellner Piano Miyuki Washimiya Duo Recital

2024

10.6 [Sun.] 14:00 開演
(13:30 開場)

稲城市立 i プラザホール

一般 ¥3,200 (当日 ¥3,500) 全席自由
学生 ¥2,000

ベートーヴェン：ソナタ第9番「クロイツェル」作品47

Beethoven: Sonata No.9 Kreutzer Op.47

クライスラー：愛の喜び Kreisler: Liebesfreud

クライスラー：ウィーン奇想曲 Kreisler: Caprice Viennois

シューベルト：アヴェマリア Schubert: Ave Maria

シューベルト：セレナーデ Schubert: Serenade

シューベルト：幻想曲ハ長調 D.934 Schubert: Fantasy Cdur D.934



Violin クリストフ・エーレンフェルナー Christoph Ehrenfellner

ザルツブルグ生まれ。オーストリア出身の音楽家の中でも、極めて多彩な才能を発揮しており、伝統的なウィーン音楽を礎にヴァイオリニスト、指揮者、作曲家としての経験を活かし、それらを融合させた独自のスタイルを確立している。

ロレーヌ国立歌劇場(仏)のアシスタント指揮者として活動を開始した後、ミュルーズ交響楽団(仏)やスイス・小澤征爾国際アカデミーの招聘作曲家として抜擢される等、欧州を足掛かりに、現在では、その活躍の場を全世界へと広げている。

作曲家としては、今年、4作目となる新作オペラ「カール&アンナ」を発表、去年、3番目の交響曲を発表した際と同様に、聴衆の大きな喝采を浴びた。2018年に発表されたバレエ音楽も聴衆から熱い支持を得ており、2025年にデュッセルドルフで開催される国際クラシック音楽賞の作曲賞の受賞も内定している。

指揮者としてのレパートリーは、バロックから現代音楽まで幅広く、近年では、ユース・オペラ・プロジェクトを率いて、2024年のザルツブルグ音楽祭と2025年の国際クラシック音楽賞のガラ・コンサートで、オッフェンバックのオペラ「ホフマン物語」を指揮予定。

ザルツブルグ音楽祭、ウィーン芸術週間や、ウィーン室内管弦楽団、モーツァルテウム管弦楽団等、全世界の様々な音楽祭、オーケストラに招聘される一方、佐渡裕、ゴドン・クレーメルを始め、多くの著名音楽家との交流も深めている。ニューヨーク・タイムズ(米)等の全世界の有力メディアでも高く評価されており、彼の作品が録音されたCDは、ドイツで最も権威があるとされているオーパス・クラシック賞を2018年に受賞している。

若手の育成にも力を入れており、毎年7月にウィーン楽友協会大ホール(黄金の間)で開催されるウィーン国際青少年音楽祭にて、過去10年以上にわたり、審査員、及び、指導を担当、加え、グラーツ国立音楽大学(奥)やウィーン近郊のグラフィエネックで毎夏開催される若手音楽家向けの権威あるアカデミーを含め、全世界で指導を行っており、桐朋学園大学音楽学部で教鞭をとった経験もある。ウィーン青少年オーケストラとは過去4回、ツアーを実施している。

来日公演スケジュール

- ・9/27(金)18:30開演 @ムジカーザ(東京)【石井美映と国際的な名手たち】[共演]石井美映(Pf)/上村文乃(Vc) [問]ongakumusik3@gmail.com
- ・9/29(日)15:00開演 @栃木県総合文化センターサブホール(栃木)【カンマームジークのよろこび】[共演]杉本真弓(Vn)/富田大輔(Vla)/懸田貴嗣(Vc)/齋藤洋子(Pf) [問]info@variation-piano.com
- ・10/1(火)19:00開演 @サロン・テッセラ(東京)【カンマームジークコンツェルト - シューベルト & 想曲とロンドの夕べ〜】[共演]大矢絢子(Pf)/中村実雪(Pf) [問]070-8525-4620/do.re.mi.fa.mi.re.do.do@gmail.com
- ・10/2(水)19:00開演 @ムジカーザ(東京)【山中直子 室内楽シリーズ vol.13 - ウィーンの名手たちと〜】[共演]山中直子(Vn)/山中里紗(Vn&Vla) [問]yoyogimusicschool@gmail.com
- ・10/3(木)19:00開演 @ルーテル市ヶ谷センター(東京)【藤井洋子&本多昌子 カンマームジーク コンサート〜カフカ没100年 メモリアルイヤーに〜】[共演]藤井洋子(Cl)/本多昌子(Pf)/片山実穂(朗読) [問]accordvibrer@gmail.com
- ・10/4(金)18:30開演 @高輪プリンセスガールデン(東京)【室内楽の夕べ - ウィーンの名手たち〜】[共演]青木紀久子(Pf)/富岡廉太郎(Vc) [問]080-5672-8814/Kikuko.klavier@gmail.com



Piano 鷺宮美幸 Miyuki Washimiya

7歳よりピアノ、作曲、ヴァイオリンを始める。その後、桐朋女子高等学校を経て、桐朋学園大学ピアノ科入学。在学中、フランス音楽界の第一人者H. ビュイグ = ロジェ氏の推薦で、パリに留学。帰国後、同大学を卒業。第56回日本音楽コンクール入選を皮切りに、UFAM国際コンクール・室内楽部門第2位、日本室内楽コンクール第3位、国際ピアノデュオ・コンクール2台4手部門第2位(日本人最高位)など、多くのコンクールに入賞するとともに、トゥール国際アカデミーでは2年連続で最優秀受講生に選ばれた。

2013年には、Kris Foundationに招聘され、シンガポールで Metropolitan Festival Orchestra、指揮Chan Tze Lawとグリーグのピアノ協奏曲、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」を一夜で演奏し「The Straits Times」で絶賛された。2016年、第8回World Peace Classic Concertでは、新田孝指揮、Nippon Symphonyとラヴェルのピアノ協奏曲を演奏し、雑誌「音楽現代」で、「真の意味で実力者」と評価され、

また、2017年にラフマニノフのピアノ協奏曲第3番を演奏し、「ヴィルトゥオーゾ」と評価された。

「ピアノ&ピアニスト」(音楽之友社、2018年1月発行)の「日本の名ピアニストたち」にも選ばれた。

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のクリストフ・ハルトマン、イ・ムジチ合奏団のマッシモ・パリス、ヴィト・パテルノステル、またジャン・ワン、マクサンス・ラルュー、レ・ヴァン・フランセのジルベール・オダン、ミッシェル・マイスキーなど、国内外の著名なソリストと共演。

NHK・BS「びあのピアノ」、NHK・FM「名曲リサイタル」にソロで、また室内楽、伴奏でも度々出演した。

これまでにピアノを寺西昭子、村手静子、T. パラスキヴェスコ、高木茉莉、松浪佳子の各氏に、室内楽をJ.M. ダマーズ、三善晃、H. ビュイグ = ロジェ、クリスチャン・イヴァルディの各氏に、チェンバロを遠藤陽子氏に師事。

現在、ソリスト、室内楽奏者、オメガ・ピアノトリオのメンバー(Vn. 松実健太、Vc. 唐津健)として活躍。

昨年、CD「記憶の風景」(Pf. 鷺宮美幸/ALCD-7291 コジマ録音)、一昨年ライブ録音のCD「鷺宮美幸ピアノ・リサイタル」(Pf. 鷺宮美幸/ALCD-9235 コジマ録音)をリリース。またこれまでに「ワッシー・ファンタジア」(Pf. 鷺宮美幸/DQC65 パスティエル)、「シヨスタコーヴィチ」(Vla. マッシモ・パリス、Pf. 鷺宮美幸/C00090 ダ・ヴィンチ・クラシック)など数多くCDをリリースし、いずれも高い評価を得ている。

